

変革期に挑む 皆さまにより近く

千葉の
取り組み編

～「あってよかった」から「なくてはならない」へ～

JAの挑戦—シリーズ③

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域活性化」。

この3つの大きな目標を達成するためにJAグループはチャレンジをし続けています。

JAグループ千葉県域担い手サポートセンター
これまでの取り組み

JA千葉中央会・JA全農ちはば・JA共済連千葉・農林中央金庫千葉支店の担い手支援関連部署からの職員の出遣により、「JAグループ千葉 県域担い手サポートセンター」を共通機構として設置し、関係機関と連携しながら、様々な担い手支援に取り組んできました。

- 1 担い手総合支援**
「担い手総合支援」の主な取り組みとして、農業者の高齢化・減少に伴う「農業労働力の不足」が喫緊の課題となっていることから、農業労働力確保対策として、JAなどによる無料職業紹介所事業を活用した支援を行っています。
- 2 担い手育成支援**
「担い手育成支援」の主な取り組みとして、農業経営の改善や他産業並みの就業条件が整備されるなど基礎的條件の整備につながるため、関係機関と連携して、担い手の農業法人化の支援を行っています。
- 3 農業所得増大・地域活性化
応援プログラム総括**
「農業所得増大・地域活性化応援プログラム総括」については、農林中金千葉支店と連携し取り組みを行っています。

30年4月
POWER UP

平成30年4月からの
担い手サポート体制

千葉県農業者
総合支援センター

- 千葉県
- (公社)千葉県園芸協会
- (一社)千葉県農業会議
- JAグループ千葉

30年4月からは、JA・行政・農業関係団体が一体となって、「オール千葉」として、よりパワーアップした担い手支援を行います。

応援プログラムの活用 ～県域企画応援事業の活用事例～

「女性だからこそ」できることを ●花卉農家・岡本麻理さん



今後のビジョン 市川市の花を、すべて自分が育てた花に！

- 規模拡大し生産量を増加させるとともに、現在栽培していない自分の好きな花も育てたい。
- 直売施設の規模を拡大し、お客様とふれあいながらの販売もしたい。
- 親元に就農した私にも活用できる支援策が欲しい。

- 規模拡大のため、機能が向上した新しいトラクターを導入するにあたり、「農機具等購入支援事業」で、購入価格のうち、50万円をJAグループが助成いたしました。
- 「新規親元就農応援事業」で、年間最大10万円をJAグループが助成(最大2年)しました。

JAグループ千葉
農業所得増大等に向けた
県域応援プログラム

- ①農機具等
購入支援
事業
- ②新規
親元就農
応援事業
- ③新規農業
生産法人
支援事業

事業実施期間 平成28年4月1日から平成31年3月31日まで
※①農機具等購入支援事業は、平成29年度で終了しました。

JAグループ千葉

耕そう、大地と地域のみらい。

<http://www.ja-chiba.or.jp>